

# 目次

## 【1】商標教室 基礎編

### はじめに

1. イントロダクション
2. 商標制度の概要  
(Point) 特許庁IPDL ブランディ
3. 本書の目的  
《判例等》 十二支箸事件

## 第1章 商標論

1. 商標とは  
(Point) 商標の本質
2. 商標とサービスマーク  
(Point) 商標の構成要素 商品商標 役務商標  
《判例等》 トラッドブルー事件
3. 商標の使用  
(Point) 商品／役務との関連性 製造標 販売標
4. 商標の機能  
(Point) 出所表示機能 自他商品識別機能 品質保証機能 宣伝広告機能 顕著性
5. 商標の二面性  
(Point) 侵害の回避 侵害の排除
6. 特許と商標  
(Point) 採択 ロイヤルティの性質
7. ドメインネーム  
(Point) 商標との関係 JPRS JPNIC 仲裁センター
8. 判例研究編の紹介  
\*コラム[1] パテントアトニー(弁理士)考 その1  
\*コラム[2] パテントアトニー(弁理士)考 その2  
\*コラム[3] 防護標章登録制度

## 第2章 商品論

1. 商品とは  
(Point) 有体物 独立性 有償性 流通性  
《判例等》 BOSS事件 ヴィラージュ事件 TEMPEST事件 審決(サンプル商品)
2. サービス(役務)とは  
(Point) 無体物 独立性 有償性 非流通性
3. 商品・役務(サービス)のクラス  
(Point) 国際分類 類似商品役務審査基準 類似商品役務コード
4. 無形の商品  
(Point) 備考類似 コンピュータソフトウェア ネット配信音楽 ネット販売 通信販売  
《判例等》 シャディ事件 ESPRIT事件
5. 誤解されやすいサービス  
(Point) 芸名 保険商品 金融商品 分譲マンション テレホンカード SUICA(スイカ)  
《判例等》 加勢大周事件 はいれます 天一事件 東天紅事件
6. 判例教室の紹介  
\*コラム[4] 連合商標制度  
\*コラム[5] 外国商標制度  
\*コラム[6] Rマーク TMマーク Cマーク

### 第3章 顕著性論

1. 顕著性の問題の所在  
《判例等》 純正事件 みぞれ甘納豆事件
2. 商標登録の前提要件  
(Point) 自己の商標 自己の商品  
《判例等》 ZIMMY 'S事件
3. 顕著性を欠く商標の例示  
(Point) 商標法第3条 地模様 キャッチフレーズ  
《判例等》 ルイ・ヴィトン事件 ロンシャン事件 Dior事件 エピライン事件 審決例
4. 使用による顕著性  
(Point) 3条2項 セカンダリーミーニング  
《判例等》 アマンド事件
5. 拒絶される理由と商標権の及ばない範囲  
(Point) 幻の酒  
《判例等》 おばいけ事件審決 サクサク事件審決
6. 顕著性と品質の誤認  
(Point) 審決例 クラブ ハウスマーク
7. 顕著性を含む商標の類否
8. 判例教室の紹介  
\*コラム[7] 真正商品の並行輸入  
\*コラム[8] シーブリーズ事件 - トレードドレス

### 第4章 類似性論

1. はじめに  
(Point) 民事上の責任 刑事上の責任 社会的責任
2. 類否の判断基準  
(Point) 外観類似 称呼類似 観念類似 類否のパターン(愛称、大きさ、普通名称の有無、色彩、冗長な称呼、派生語、語順の入れ替え) 審決例  
《判例等》 痛快事件 鳳凰事件 Cutie事件 レディバード事件
3. 類否の判断方法  
(Point) 離隔観察と対比観察 全体観察と要部観察 取引の実情
4. 判例教室の紹介  
\*コラム[9] 商標を使用しない自由 商標の抹消  
\*コラム[10] 真正商品の小分け・再包装・リフォーム・セット商品

## 第5章 制度論

### 1. 商標権の発生

(Point) 登録主義と使用主義 不使用取消審判

《判例等》 加勢大周事件

### 2. 審査主義と先願主義

(Point) 商標登録出願の流れ 審決取消訴訟 行ケ事件 無審査主義

### 3. 登録要件

(Point) 商標法第4条の解説 公益保護と私益保護 周知商標と著名商標

フリーライド ダイリューション ポリューション

《判例等》 ZANOTTA/SACCO事件 ETNIES事件 iOffice2000事件

### 4. 商標権の譲渡ライセンス

(Point) 特許庁への登録の効果 効力発生要件 第三者対抗要件 顧客吸引力

(グッドウィル) 専用使用権 通常使用権

### 5. 不使用取消審判

(Point) 登録商標の同一性 OEM契約

《判例等》 PRINZ事件

### 6. 商標権侵害

(Point) 専用権 禁止権 民事上の責任 刑事上の責任 社会的責任 損害賠償

損害額の推定 使用料相当額 非親告罪

《判例等》 阪急電機株式会社事件 ロビンソンヘリコプター事件

\* コラム[11] 阪神優勝

\* コラム[12] クライアント考

\* 付録 商標法(抜粋) 商品役務区分リスト